

# 長期格納時の農機具管理 1 10月の農作業

## 燃料の管理

長期格納時、農機具内の燃料タンクを「カラ」にするのか、「満タン」にするのかは、燃料の種類で決まります。

### ガソリン

ガソリンは揮発性があるため、密閉容器に入れておかない限りどんどん揮発していき、ガム状物質という黄緑色や褐色のカスが残ります。このガム状物質はエンジンの故障の原因となります。また、ガソリンはポリ容器を溶かす性質を持っています。したがって、保存するときは金属製か専用の溶けない容器で密封できるものに入れておく必要があります。保管場所は日のあたらない涼しいところにしましょう。

### 軽油

軽油もガソリンと同じ危険物なので、保管方法も同様に注意が必要です。ディーゼルエンジンは精密にできているため、水やサビの混じった軽油を使っていると、大きな故障の原因となります。また、軽油は凍結する性質を持っており、冬場はエンジンがかからなくなることがあります。これを防ぐには凍る前に灯油を混ぜてエンジンをしばらくかけておくとよいでしょう。

### 混合油

混合油も揮発性があり、そのままの状態でおくと濃度が濃くなり、粘りが出てきます。また、オイル分とガソリンが分離して質が劣化するため長期保存には向いていません。特にペットボトルでの保管は、絶対にしないでください。保存する場合は密閉できる保存容器を使用し、夏場で1ヶ月、冬場で2ヶ月を目安としてください。

### 燃料タンク内の燃料管理

ガソリンを使用している農機具を長期保存する場合は、燃料タンク内に残っているガソリンを抜き取って「カラ」にしておいてください。また、気化器がある場合は気化器内のガソリンを燃料コックを「閉」にして、ワンタッチドレーンやドライバーを使って抜き取ります。古いガソリンが残っていると、エンジン不調のトラブルを引き起こします。

軽油を使用するディーゼルエンジンの場合、長期保存するときはタンク内の燃料を「満タン」にしておきます。カラにしておくことと日中と夜間の温度差で燃料タンク内に結露が起り、タンク内のサビ付きの原因になったり、水が溜まることがあります。燃料に不純物が含まれるとエンジンに不具合が生じるため、タンク内の燃料管理に気をつけましょう。

混合油は長期間使用しない場合、必ず燃料を抜き取らしましょう。燃料コックを止めて燃料タンクが「カラ」になるまでエンジンをかけておいてください。燃料が残っているとタンク内のサビ付きの原因となります。



裏面は長期格納時の農機具管理 2を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.246 平成23年10月14日発行

# 長期格納時の農機具管理 2 10月の農作業

## 大型機械類のメンテナンス

トラクターやコンバインなど、特にバッテリーを持つ機械は使用しない時期も定期的にメンテナンスしましょう。整備不良のまま使用すると、思わぬ事故を引き起す原因となります。

### 格納時のメンテナンス

農繁期には頻りにメンテナンスを行う大型機械類でも、農閑期は放置される可能性が高くなります。そのため、シーズン前の定期点検と、シーズン終了後の格納点検、特に洗浄清掃が重要です。点検・管理の基本は、掃除、オイル交換、バッテリー管理の3つです。

機械にこびりついたわら交じりの泥や、巻きついた雑草やわらくすなどのゴミは必ず取り除いてください。残っていると、ネズミなどが巣くう原因となり、配線をかじられることもあります。機械の周りに籾殻などがあつたら要注意。ネズミが機械に侵入した痕跡です。配線の被覆がはがれていたら、絶縁テープで補修しておいてください。また、田植機の植付部やコンバインのクローラ（走行用キャタピラー）などに付着した泥は水で洗い落とし、乾いた布でふき取っておきましょう。



### バッテリー

農閑期は、自然放電を防ぐためにバッテリーを外すのが理想ですが、部品を広げて置く場所の確保や取り外しが困難で、付けっぱなしのケースがあります。その場合は、バッテリーコードのマイナス端子を外してください。放電の多い夏場は月1回、冬場は2ヶ月に1回くらいを目安にエンジンをかけ、バッテリーの充電をしておきましょう。エンジンにオイルが回り、サビ防止にも繋がります。取り外したバッテリーは、日の当たらない場所に保管してください。

### 格納

農機具を格納する場合は、平坦な場所に置きましょう。トラクターや田植機はクラッチ板の固着を防ぐために、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで固定してください。「切」状態にしていないと、クラッチが切れなくなる恐れがあります。田植機は植付け部を、トラクターはロータリーを一番下まで下ろして保管しましょう。コンバインは、刈取部を一番下までおろし、先端にバンパを取付け、駐車ブレーキをかけて歯止めをして保管します。

ラジエーターを冷却水のままに保管すると、エンジンの凍結割れをおこす恐れがあります。不凍液が入っているか確かめてください。

\* 農機具の故障・農機具部品の取り寄せなどについては、JAハリマ農機具センター（☎72-0305）へお問い合わせください。

裏面は長期格納時の農機具管理 1を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.246 平成23年10月14日発行